

第5学年1組 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 谷田川 千明
 学習指導補助員 ○○ ○○ (AT)

1 単元名 「中学校へ夢をつなげよう」

2 目 標

- 自分の長所や短所に気付くとともに、相手の立場に立って考え、発言したり行動したりすることができる。(人間関係形成能力) 1
- 中学生との交流や学校紹介から自分に必要な情報を選んだり、中学校生活と今の生活との関連を理解し、今しなければならないことを考えたりすることができる。(情報活用能力) 2
- 中学生との交流や学校紹介を通して、自分はどのような中学生になりたいかを考え、その目標を実現するための計画を立て実行しようとするすることができる。(将来設計能力) 3
- 中学生との交流や学校紹介から、これからの課題を見つけ、自分の力で解決しようとする力することができる。(意思決定能力) 4

<キャリア教育の視点>

- 1-①自分のよさや友達によさに気づき、自分と異なる意見も理解しようとする。
- 1-②相手の立場に立って考え、発言したり、行動したりしようとする。
- 2-①自分に必要な情報を探し、活用する。
- 2-②中学生との交流や学校紹介を通し、小学校生活と中学校生活との関連や、今しなければならないことが分かる。
- 3-①学級、グループの一員として、集団生活のために責任をもって自分の役割を果たす。
- 3-②どのような中学生になりたいのか希望をもち、実現するための計画を立て、実行しようとする。
- 4-①自分の能力や適正を生かし、どのような中学生になりたいかを主体的に考える。
- 4-②中学校に向けての夢や希望をもち、実現するための生活や学習上の課題を見つけ、自分の力で解決しようとする。

3 単元について

5年生に進級してから7か月が過ぎ、児童は委員会活動や縦割り班活動、運動会等、学校生活の様々な場面で、6年生を見習いながらリーダーとしての役割を果たしてきた。高学年としてのしっかりとした自覚をもち始めたこの時期に、中学生と交流し、新たなものの見方や考え方、中学生の自主性や行動力を学ばせることが、これからの自分のよりよい生き方を見つめる機会になると考えた。さらに、6年生に進級してからではなく、5年生のこの時期から中学校入学を見据え、準備を始めることが、今後の小学校生活をより充実させることにつながるかと考え、この単元を設定した。

キャリア教育の視点から考えると、中学生は身近なキャリアモデルであり、中学生との交流で学んだことや体験したことから、自分に必要な情報を探し、これからの生活や生き方を考え、今しなければならないことを理解しようとすることは、キャリア発達を支援する上で重要である。

学びの質を高める学習支援の工夫として、中学生が来校した後や、中学生との交流授業の後に、意図的に編制したグループによる意見交流の時間を設けることによって、児童の考えを広げたり、気づきの質を高めたりできるようにしたい。

学校教育指導方針の「横断的・総合的な学習や探求的な学習としての充実」という努力事項を踏まえて、学区内の中学校との連携を深めるとともに、言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動の充実を図りたい。

4 学習活動計画 (10時間扱い)

	時	ね ら い	学 習 活 動	1	2	3	4
で あ う	1	○「中学生」についてのイメージや、中学生になった自分について話し合い、関心を高め、課題を見つける。	<ul style="list-style-type: none"> ・「中学生」について自分がもっているイメージを、イメージマップにまとめる。 ・イメージマップの内容や、中学生になった自分についてグループで話し合う。 ・中学生との交流を通して調べてみたいことをまとめる。 	①	②		

ふ か め る	2～3	○中学生による中学校生活の紹介を聞き、中学生の生活についての理解を深める。 中学生に来校してもらい、中学校と小学校の違い（学習面・生活面）や、自治的・自主的活動、頑張っている点などについて話してもらおう。 <中学校につなげるための意識付け（憧れ・尊敬・期待・不安の解消）>	・中学生から中学校生活の紹介を聞く。 ・話を聞いて分かったことや感想をまとめる。	① ①		
	4	○中学校生活の紹介を聞いて感じたことをグループで話し合い、小学校生活と中学校生活との関連を考える。	・中学校生活の紹介を聞いて感じたことを、グループで話し合う。	① ②	②	
	5～6	○中学生と一緒に学び、ものの見方や考え方を深める。 将来の夢について、中学生の視点から考えたこと、小学生の視点から考えたことを話し合い、ものの見方や考え方を広める。 <新たなものの見方の発見・視野や考え方の広まり>	・「将来の夢」をテーマに、中学生と考えを交流する。 ・交流した感想をまとめる。 ・交流した感想についてグループで話し合う。	① ②	① ①	①
	7～9 本時 (3/3)	○中学生から学んだことをグループで話し合うことによって自分の学びや考えを深め、どんな中学生になりたいのかを具体的に考える。	・中学生との交流等から学んだ内容を整理し、工夫して分かりやすくまとめる。 ・まとめたことについて意見交流を行い、自分の考えをより深め、どんな中学生になりたいのかを具体的に考える。	① ②	②	①
	ふり か え る	10	○中学生からの学びを通して、自分の生き方について見つめ直し目標を実現するために自分が努力すべきことを考える。	・どんな中学生になりたいかをもう一度思い描き、自分の目標をはっきりさせる。 ・自分の目標を達成するために、これからどんな努力をしていけばよいかを考える。	② ②	② ②

キャリア教育の視点 1 人間関係形成能力、 2 情報活用能力、 3 将来設計能力、 4 意思決定能力
(かかわる力) (見つける力) (えがく力) (もとめる力)

5 本時の活動（9／10）

(1) ねらい

- 中学生との交流で学んだことについて意見交流することにより自分の考えを深め、自分はどうような中学生になりたいかを具体的に考えることができる。

<キャリア教育の視点>

- 1-①自分のよさや友達のよさに気付き、自分と異なる意見も理解しようとする。
- 1-②相手の立場に立って考え、発言しようとする。
- 3-②どのような中学生になりたいのか希望をもつ。

(2) 本校の学校目標との関連

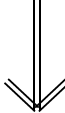
「自ら学び自ら考える」という学校教育目標に対して、以下のような学習指導の具体的な工夫を行う。

- ・話し合いヒントカード、司会用マニュアル、2種類の黒板掲示用カード等を活用してグループ、さらに学級全体で意見交流を行うことにより、自ら学ぶ意欲を育てる。

(3) 準備・資料

- ・課題文 ・四つの力の提示カード ・学校紹介、交流授業の映像 ・ワークシート
- ・話し合いヒントカード ・司会用マニュアル ・黒板掲示用カード

(4) 展 開

学習活動・内容	教師の支援・評価
<p>1 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>中学生との交流から学んだことをもとに、自分はどんな中学生になりたいのかを考えよう。</p> </div> <p>2 中学生との交流から学んだことについて、グループで話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(1) グループの一人が、交流から学んだ中学生のすごいところ、素晴らしいところについて、自分の考えを発表する。 (2) 発表した考えに対して、聞き手全員が質問をしたり感想を話したりするなど、自分の思いを述べ合う。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> グループ全員の考えに 対する感想交流後 </div> </div> <p>(3) 話し合いから得た、友達のよい考えや意見を、ワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても優しく、話し合いをリードしてくれた。 ・勉強も部活動も一生懸命頑張っていた。 ・自分の夢に向かって努力していた。 <p>3 グループでの話し合いの結果を発表し、中学生との交流から学んだことについて全体で話し合う。</p> <p>(1) グループで話し合った内容をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の姿を見て思ったこと・感じたこと→ピンクのカード ・中学生の話から学んだこと →黄色のカード <p>(2) グループで話し合った内容を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堂々とした話し方 ・優しい ・あいさつや言葉遣い ・勉強や部活動 ・目標をもって努力する ・あきらめない <p>(3) みんなの考えをもとに、全体で話し合う。</p> <p>4 全体での話し合いをもとにして、自分はどんな中学生になりたいかをワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてをもち、あきらめずに努力する。 ・勉強も部活動も精一杯頑張る。 ・自分の考えをもち、堂々と話す。 <p>5 本時の学習内容を振り返り、次時の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな中学生になりたいかを発表する。 ・これから自分がしなければならないことは何か。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生による学校紹介や中学生との交流授業の映像を見せることによってこれまでの学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。 ・四つの力の中で、本時において重視する力は「かかわる力」(人間関係形成能力)と「えがく力」(将来設計能力)であることを、カードを提示することにより確認する。 ・ATは、全員が集中して話を聞き、課題をつかむことができるよう支援する。 <p>◇ 児童の考えがより広がるよう、前時に記入させたワークシートの内容を見て、意図的にグループ編制を行う。</p> <p>◇ 深まりのある話し合いになるよう、自分の考えをより具体的に話すためのヒントカードを活用させる。</p> <p>◇ 一方向的な発表でなく、双方向的なやりとりによる深まりのある話し合いが展開されるように、一人の考えに対して、グループ全員がコメントしていく。</p> <p>◎ ATは自分の考えや感想を述べるのが苦手な児童に付き、ワークシートを見ながら考えを整理して話すことができるよう支援する。</p> <p>◎ 司会者の役割として、内容を整理する力がまだ不十分な児童に対しては、司会用マニュアルを活用させる。</p> <p>☆ 自分とは異なる意見も理解しながら話し合いに参加し、相手の立場に立って考えたり発言したりすることができたか。</p> <p style="text-align: center;">1-① 1-② (発言・ワークシート1)</p> <p>◇ 全体での話し合いがより深まるよう、グループで話し合った内容を、中学生の姿を見て思ったことや感じたこと、中学生の話から学んだことに分けて掲示用のカードに記入させ黒板に掲示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合った内容を発表する際には、キーワードについて具体的に説明させる。 ・中学生のどんな姿を見て、またはどんな話を聞いてそのことを学んだのかを確認する。 <p>◇ 学んだことを類型化し、中学生のすごいところはどこか、また、そうなるためにどんな努力をしているのかを全体で考えることにより、グループで話し合った内容をさらに深めることができるようにする。</p> <p>◎ 自分の考えを書くことができない児童に対しては、黒板に掲示してあるカードの中で自分が一番目指したいものはどれかを考えさせ、それをもとにまとめるよう支援する。</p> <p>☆ 中学生から学んだことをもとに、自分はどのような中学生になりたいのかを考えることができたか。</p> <p style="text-align: center;">3-② (ワークシート3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標とする中学生になるために、これからの小学校生活でしなければならないことを考えていくことを伝え、次時の学習への意欲を高める。

◇学びの質を高める工夫 ◎個への対応 ☆評価の観点